

Bridge Report セプテーニ・ホールディングス(4293)

 佐藤 光紀 社長	会社名	(株)セプテーニ・ホールディングス	
	証券コード	4293	
	市場	JASDAQ	
	業種	サービス業	
	社長	佐藤 光紀	
	所在地	東京都新宿区西新宿8丁目17番1号 住友不動産新宿グランドタワー28F	
	事業内容	ネット広告代理、販促支援やコンテンツ配信展開する子会社群が傘下に。ヤフーが資本参加。	
	決算月	9月	
HP	http://www.septeni-holdings.co.jp/		

- 株式情報 -

株価	発行済株式数(自己株式を控除)	時価総額	ROE(実)	売買単位	
81,600円	125,896株	10,273百万円	10.9%	1株	
DPS(予)	配当利回り(予)	EPS(予)	PER(予)	BPS(実)	PBR(実)
1,200.00円	1.5%	8,419.65円	9.7倍	51,369.52円	1.6倍

*株価は2/22終値。発行済株式数は直近四半期末の発行済株式数から自己株式を控除。ROE、BPSは前期末実績。

- 連結業績推移 -

(単位:百万円、円)

決算期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	EPS	配当
2009年9月(実)	33,046	598	421	-585	-	900.00
2010年9月(実)	32,648	1,098	1,024	545	4,333.90	1,000.00
2011年9月(実)	34,632	928	980	429	3,411.04	1,000.00
2012年9月(実)	41,358	1,527	1,638	677	5,381.15	1,000.00
2013年9月(予)	45,500	1,680	1,820	1,060	8,419.65	1,200.00

*予想は(株)インベストメントブリッジ予想。

セプテーニ・ホールディングスの2013年9月期第1四半期決算について、ブリッジレポートにてご報告致します。

1. 会社概要
2. 2013年9月期第1四半期決算
3. 2013年9月期業績予想
4. 今後の注目点

今回のポイント

・13/9 期 1Q(10-12月)は前年同期比 12.2%の増収ながら、20.7%の営業減益。主力のネットマーケティング事業をけん引役に四半期ベースの売上高が過去最高を更新。ソーシャルゲーム事業(メディアコンテンツ事業の中の1事業)の基盤整備や新タイトルの開発費等が負担となり営業減益に。(昨年12月時点の予想からは45.3%上回る着地)

・上期予想は前年同期比 7.7%の増収、21.4%の経常減益。ただ、2Q(1-3月)の3ヶ月間では、繁忙期を迎えるネットマーケティング事業が1Q比で増収・増益。今期投入したタイトルの収益貢献が始まるため、メディアコンテンツ事業も1Qに比べて売上が増加し、損失が減少する見込み。

・ネットマーケティング事業は、インターネット広告市場の拡大が追い風となっている事に加え、成長分野である Facebook 関連やスマートフォン向け広告での需要取り込みにも成功しており、2Q以降も堅調な推移が見込まれる。このため、ソーシャルゲームを中心にメディアコンテンツ事業でどれだけ上積みを図る事ができるかが今期業績を考える上でポイントとなる。

1. 会社概要

ネット広告代理店で業界トップクラスの(株)セプテーニや、携帯電話向けコンテンツ配信を行うアクセルマーク(株)(3624)等、連結子会社17社、持分法適用会社2社と共にグループを形成。インターネット広告代理事業の強化を図りつつ、成長分野への積極投資を通じて自社サービス中心の収益モデルへの転換を進めている。

純粋持株会社		(株)セプテーニ・ホールディングス	
ネットマーケティング事業		トライコーン(株)	CRM サービス
(株)セプテーニ	インターネット広告	(株)トリガー	ソーシャルリサーチ
MANGO(株)	SEMオペレーション	メディアコンテンツ事業	
(株)Vasara	インターネット広告	アクセルマーク(株)	モバイルコンテンツ
(株)ハイスコア	ソーシャルメディア等	サイテック(株)	ソーシャルアプリ開発
(株)イーグルアイ	アドネットワーク	その他	
Septeni Asia Pacific Pte. Ltd.	亜・太平洋地域でのインターネット広告	(株)セプテーニ・ダイレクトマーケティング	DM 事業
Septeni America Inc.	北米地域でのネットマーケティング	新規事業開発	
(株)セプテーニ・クロスゲート	アフィリエイトネットワーク	(株)セプテーニ・ベンチャーズ	
(株)エイエスピー	eマーケティングソリューション	(13年2月5日現在)	

【事業内容】

事業は、ネットマーケティング事業、メディアコンテンツ事業、及びダイレクトメール発送代行、インシッパ広告、e-コマース等のその他(報告セグメントに含まれない)に分かれ、12/9 期の売上構成比は、それぞれ 81.1%、10.5%、8.4%(連結調整前の営業利益ベースでは、78.5%、12.8%、8.7%)。

ネットマーケティング事業

インターネットを活用した包括的なマーケティング支援サービスを展開している。具体的には、インターネット広告の販売やウェブソリューション(サイト構築・運用・集客、SEO等)を二本柱とするインターネット広告代理事業を収益基盤としつつ、アドネットワーク等のマーケティングプラットフォームやクラウド型 CRM サービスといった自社が運営主体となるサービスを育成中である。

メディアコンテンツ事業

アクセルマーク(株)及びサイテック(株)の事業領域。モバイル(スマートフォンや従来型携帯電話)向けソーシャルゲームを中心に(12/9 期第4四半期はセグメント売上高の59%を占めた)、音楽、書籍、動画、占い等の企画・開発を手掛けている。開発したデジタルコンテンツは SNS や携帯通信キャリア等のプラットフォームを通じて消費者に提供しており、ソーシャルゲームはアクセルマーク(株)が Mobage に、サイテック(株)がGREEに、それぞれ提供している。

2. 2013年9月期第1四半期決算

(1) 第1四半期(10-12月)連結業績

(単位:百万円)

	12/9期	1Q(10-12月)	構成比	13/9期	1Q(10-12月)	構成比	前年同期比	期初予想	予想比
売上高		9,710	100.0%	10,891	100.0%	+12.2%	10,700	+1.8%	
売上総利益		2,006	20.7%	2,178	20.0%	+8.5%	-	-	
販管費		1,640	16.9%	1,887	17.3%	+15.1%	-	-	
営業利益		366	3.8%	290	2.7%	-20.7%	200	+45.3%	
経常利益		407	4.2%	338	3.1%	-17.0%	230	+47.0%	
四半期純利益		128	1.3%	186	1.7%	+45.2%	120	+55.5%	

数値には(株)インベストメントブリッジが参考値として算出した数値が含まれており、実際の数値と誤差が生じている場合があります(以下同じ)。

売上高が四半期ベースで過去最高を更新。営業利益が減少したものの予想を上回る着地

売上高は前年同期比12.2%増の108億91百万円と四半期ベースで過去最高を更新。ゲームの一服でメディアコンテンツ事業の売上が9億40百万円と同7.4%減少したものの、EC関連事業者の出稿拡大に加え、注力分野であるFacebook関連やスマホ向け広告も伸びたネットマーケティング事業の売上が90億66百万円と同15.2%増加した。

営業利益は同20.7%減の2億90百万円。売上構成比の変化で売上総利益率が低下する中、メディアコンテンツ事業における人材・組織等の基盤整備やこの四半期にリリースしたソーシャルゲーム3タイトルのゲーム開発費等で販管費が18億87百万円と同15.1%増加した。セグメント別では、ネットマーケティング事業の利益が同44.4%増加したものの、上記の要因でメディアコンテンツ事業が1億07百万円の損失となった。

営業利益の減少で経常利益も減少したが、特別損失の計上がなかったため四半期純利益は1億86百万円と同45.2%増加した(前年同期は株式の段階取得に係る差損1億54百万円など特別損失1億61百万円を計上した)。

四半期業績の推移

(単位:百万円)

	12/9-1Q	2Q	3Q	4Q	13/9-1Q	前年同期比	前四半期比
売上高	9,710	10,803	10,365	10,478	10,891	+12.2%	+3.9%
売上総利益	2,006	2,221	2,176	2,228	2,178	+8.5%	-2.3%
販管費	1,640	1,722	1,865	1,877	1,887	+15.1%	+0.5%
営業利益	366	498	310	351	290	-20.7%	-17.4%
売上総利益率	20.7%	20.6%	21.0%	21.3%	20.0%	-0.7p	-1.3p
販管費率	16.9%	15.9%	18.0%	17.9%	17.3%	+0.4p	-0.6p

(2) セグメント別動向

セグメント別売上高・利益

(単位:百万円)

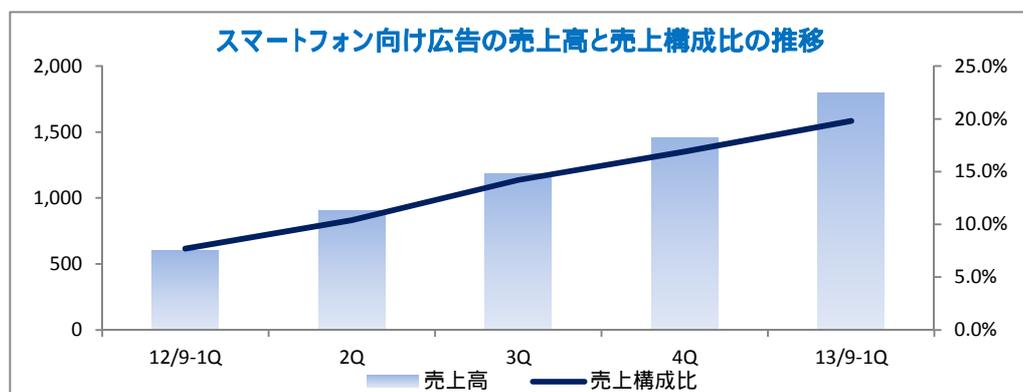
	12/9期	1Q(10-12月)	構成比	13/9期	1Q(10-12月)	構成比	前年同期比
ネットマーケティング		7,872	80.9%	9,066	83.0%	+15.2%	
メディアコンテンツ		1,015	10.4%	940	8.6%	-7.4%	
その他		837	8.6%	912	8.4%	+8.9%	
調整額		-14	-	-27	-	-	
連結売上高		9,710	-	10,891	-	+12.2%	
ネットマーケティング		293	67.8%	423	119.1%	+44.4%	
メディアコンテンツ		98	22.8%	-107	-30.2%	-	
その他		40	9.3%	39	11.0%	-2.9%	
調整額		-66	-	-65	-	-	
連結営業利益		366	-	290	-	-20.7%	

ネットマーケティング事業

(単位:百万円)

	12/9-1Q	2Q	3Q	4Q	13/9-1Q	前年同期比	前四半期比
売上高	7,872	8,735	8,355	8,636	9,066	+15.2%	+5.0%
売上総利益	1,347	1,491	1,427	1,555	1,589	+18.0%	+2.2%
販管費	1,054	1,092	1,156	1,122	1,165	+10.5%	+3.8%
営業利益	293	399	270	432	423	+44.4%	-2.1%
売上総利益率	17.1%	17.1%	17.1%	18.0%	17.5%	+0.4p	-0.5p
販管費率	13.4%	12.5%	13.8%	13.0%	12.9%	-0.5p	-0.1p

年末年始に向けて EC 関連事業者の出稿が拡大し、売上高は 90 億 66 百万円と前年同期比 15.2% 増加。売上総利益率も改善し、営業利益は 4 億 23 百万円と同 44.4% 増加した。注力分野である Facebook 関連やスマホ向け広告も順調に拡大しており、Facebook ページの構築や運用代行、或いは Facebook 広告の販売等を手掛ける Facebook 関連事業の売上高は前年同期比約 5 倍、前四半期比約 1.4 倍に拡大。累計取引社数が 300 社を突破し、取引先 1 社当たりの単価も上昇した。また、スマホ向け広告の売上高も、スマートフォンの普及を追い風に前年同期比約 3 倍、前四半期比約 1.2 倍に拡大した。



メディアコンテンツ事業

(単位:百万円)

	12/9-1Q	2Q	3Q	4Q	13/9-1Q	前年同期比	前四半期比
売上高	1,015	1,138	1,092	1,088	940	-7.4%	-13.6%
売上総利益	432	486	504	468	371	-14.0%	-20.7%
販管費	334	368	449	512	478	+43.7%	-6.6%
営業利益	98	118	55	-44	-107	-	-
売上総利益率	42.5%	42.7%	46.2%	43.0%	39.5%	-3.0p	-3.5p
販管費率	32.9%	32.3%	41.1%	47.1%	50.9%	+18.0p	+3.8p

12/9 期の業績を牽引したソーシャルゲームの売上高は前期第 4 四半期(7-9 月)の 6 億 39 百万円を下回る 5 億 19 百万円。3 タイトルをリリースしたものの、いずれも第 1 四半期(10-12 月)の後半以降だったため、四半期業績への寄与は限定的なものにとどまった

(セグメント売上高全体に占めるソーシャルゲーム売上の比率は 59%から 55%に低下)。損益面では、広告宣伝費等の経費抑制に努めたものの、ソーシャルゲーム事業における人材・組織等の基盤整備により人件費が増加した他、上記ゲームの開発費用が先行して発生したため、セグメント損益が 1 億 07 百万円の損失となった。また、連結子会社で新規事業の開発・育成を担う(株)セプテーニ・ベンチャーズが合計 6 ラインで新規事業開発を進めており、この先行投資による損失 27 百万円も当セグメントの損益に含まれている(年間で 1 億円程度の投資 = 損失を予定)。

ソーシャルゲーム売上高とタイトル数

	12/9-1Q	2Q	3Q	4Q	13/9-1Q	累計タイトル数
売上高(百万円)	350	563	593	639	519	-
発売タイトル数	3	1	2	2	3	11
うちアクセルマーク(株)	2	1	1	1	2	7
うちサイテック(株)	1	0	1	1	1	4

売上推移と主な提供タイトル

提供会社	プラットフォーム	タイトル	12/9-1Q	2Q	3Q	4Q	13/9-1Q
アクセルマーク	Mobage	キングダムクロニクル					
		王様ゲーム					
		アドベンチャークロニクル					
		天空のレギオン					
		アラド戦記SG					
		クロノマキア					
サイテック	GREE	乙女転生グリモア					
		亡国戦姫ロストガールズ					
		輪廻のラグランジェ～ジャージ部ガール					

「輪廻のラグランジェ～ジャージ部ガール」は:(株)バンダイナムコゲームスとの共同開発・運営

(3) 財政状態及びキャッシュ・フロー(CF)

財政状態

(単位:百万円)

	12年9月	12年12月		12年9月	12年12月
現預金	5,131	4,822	仕入債務	4,432	4,577
売上債権	5,624	5,697	未払法人税等	414	95
流動資産	11,381	11,190	賞与引当金	275	144
有形固定資産	332	335	有利子負債	872	937
無形固定資産	751	755	負債	7,116	6,877
投資その他	1,896	1,875	純資産	7,246	7,279
固定資産	2,981	2,967	負債・純資産合計	14,362	14,157

有利子負債 = 借入金 + 社債 + リース債務

配当や法人税の支払等による現預金の減少で、第 1 四半期末の総資産は 141 億 57 百万円と前期末比 2 億 05 百万円減少した。財政状態は流動性に富み、実質無借金(純有利子負債はゼロ)。自己資本比率は 46.2%と同 1.2 ポイント改善した。

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	12/9期 1Q(10-12月)	13/9期 1Q(10-12月)	前年同期比	
営業キャッシュ・フロー(A)	-76	-202	-126	-
投資キャッシュ・フロー(B)	-41	-49	-7	-
フリー・キャッシュ・フロー(A+B)	-117	-251	-134	-
財務キャッシュ・フロー	76	-62	-138	-
現金及び現金同等物期末残高	4,552	4,822	+269	+5.9%

営業 CF のマイナス幅が拡大したのは税負担の増加(2 億 31 百万円 4 億 05 百万円)によるもの。新規借入れの減少で前年同

期は黒字だった財務CFもマイナスとなったが、現金及び現金同等物の第1四半期末残高は48億22百万円と高水準。

3. 2013年9月期業績予想

(1) 第2四半期(1-3月)見通し

四半期業績の推移

(単位:百万円)

	12/9-1Q	2Q	3Q	4Q	13/9-1Q	2Q 予	前年同期比	前四半期比
売上高	9,710	10,803	10,365	10,478	10,891	11,200	+3.7%	+2.8%
売上総利益	2,006	2,221	2,176	2,228	2,178	-	-	-
販管費	1,640	1,722	1,865	1,877	1,887	-	-	-
営業利益	366	498	310	351	290	375	-24.7%	+29.3%
売上総利益率	20.7%	20.6%	21.0%	21.3%	20.0%	20.3%	-0.3p	-0.3p

第2四半期(1-3月)予想は、売上高112億円、営業利益3億75百万円、経常利益3億94百万円、四半期純利益4億26百万円。繁忙期(広告出稿が集中する)を迎えるネットマーケティング事業が前四半期比増収・増益。メディアコンテンツ事業も前四半期に比べて売上が増加し、損失が減少する見込み。子会社等の株式売却(後述)に伴う特別利益3億10百万円を織り込んだ。

第2四半期投入の新作ゲーム

アクセルマーク(株)が2~3タイトルのリリースを予定しており、サイテックは第1四半期末から第2四半期期初にかけて(株)バンダイナムコゲームスとの共同開発・運営の2タイトルを含む3タイトルを投入した。

提供会社	アクセルマーク	サイテック		
プラットフォーム	Mobage	GREE		
タイトル	王国の系譜 ~クリスタルサーガ~ 	涼風のヴァルキリー 	輪廻のラグランジェ ~ジャージ部ガール 	AKB0048 ギャラクシーシンデレラ 
提供開始日	13年1月28日	13年1月11日	12年12月20日	13年1月17日
共同開発/運営者	-	-	(株)バンダイナムコゲームス	
ジャンル	カードバトルゲーム			

グループ会社の異動

13年1月にパワーテクノロジー(株)を持分法適用関連会社から除外した他、同年2月に連結子会社でコマース事業を手掛けていた(株)アクレスの株式を売却した。13/9期決算における売上高、営業利益、経常利益への影響は軽微だが、第2四半期において特別利益を約3億10百万円(前者:2億10百万円、後者:1億円)計上する予定。

尚、パワーテクノロジー(株)は、(株)セプテーニ・ホールディングスが議決権の22.8%を保有していたが、13年1月1日に(株)システムソフトによって吸収合併された。この際、(株)セプテーニ・ホールディングスは会社法に基づく株式買取請求権を行使して、保有していたパワーテクノロジーの株式を(株)システムソフトに売却した。また、(株)アクレスの株式売却は、インターネット事業への経営資源集中を目的とするもの。

(2) 上期連結業績

(単位:百万円)

	12/9期 上期	構成比	13/9期 上期	構成比	前年同期比
売上高	20,514	100.0%	22,091	100.0%	+7.7%
営業利益	865	4.2%	665	3.0%	-23.1%
経常利益	931	4.5%	732	3.3%	-21.4%

四半期純利益	270	1.3%	612	2.8%	+126.6%
--------	-----	------	-----	------	---------

4. 今後の注目点

第1四半期は減益決算となったものの、利益の減少自体は昨年12月中旬の業績予想発表時点から織り込み済み。想定外といえば、ネットマーケティング事業において年末にかけての広告出稿が例年になく活発だった事で、第1四半期決算での四半期売上高の過去最高更新と利益の上振れにつながった。ネットマーケティング事業の好調は、インターネット広告市場の拡大が追い風となっている事に加え、成長分野である Facebook 関連のビジネスやスマートフォン向け広告で需要の取り込みに成功している事が要因と思われる。ネットマーケティング事業は第2四半期以降も特段の不安が無く堅調な推移が見込まれる事から、ソーシャルゲームを中心にメディアコンテンツ事業でどれだけ上積みを図る事ができるかが今期業績を考える上でのポイントとなる。

本レポートは情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を意図するものではありません。また、本レポートに記載されている情報及び見解は当社が公表されたデータに基づいて作成したものです。本レポートに掲載された情報は、当社が信頼できると判断した情報源から入手したものです。その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。当該情報や見解の正確性、完全性もしくは妥当性についても保証するものではなく、また責任を負うものではありません。本レポートに関する一切の権利は(株)インベストメントブリッジにあり、本レポートの内容等につきましては今後予告無く変更される場合があります。投資にあたっての決定は、ご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。

Copyright(C) 2013 Investment Bridge Co.,Ltd. All Rights Reserved.

ブリッジレポート(セブテーニ・ホールディングス:4293)のバックナンバー及びブリッジサロン(IRセミナー)の内容は、www.bridge-salon.jp/ でご覧になれます。